

令和5年度 学校だより 第2号



# と い で の

校訓 「自立・創造・敬愛」

4月1日よりホームページが移転・リニューアルしました。ブックマークの変更や再登録をお願いします。



高岡市立戸出東部小学校  
令和5年5月18日発行

## 「一生、青春。」

教頭 渋谷 圭祐

これは、県教委が作成した教員PR動画(※)のキャッチコピーです。教員志望者が以前に比べ少なくなっている中ですが、これ以上わくわくする仕事は他にないのではないかと思います。先日の運動会でも、子供たちの一生懸命な姿に成長を感じ感動を覚えたのは、私だけではなかったはず。子供たちが夢中になる姿、声を枯らし仲間を応援する姿、失敗や敗北を責めない姿、係活動に責任をもって取り組む姿に至るまで、どれもみな美しく、素敵でした。改めて、教師の仕事はいいなあ、子供たちの成長が毎日のエネルギーになっているなあと実感します。また、保護者の方の感想の中に次のような言葉があり、私たちと意見を共有でき、とても嬉しく読んでいただきました。

- ・練習では勝てなかった相手と聞いていたのに、当日は、勝利した姿を見て、最後まで負けない気持ちを持って臨めば勝てるという事を学んでくれていい経験になったと思います。
- ・高学年の団体競技はとても見応えがありました。最後1人になった大将が果敢に頑張っている姿にジーンとききました！
- ・上級生が下級生を思いやった行動（椅子を持ってあげる、走り終わったあと頭をなでてあげるなど）がたくさん見られて、親としてとても嬉しかったです。
- ・高学年になって最初の運動会、競技だけでなく係活動もとても頑張っていました。家庭では毎日の練習を楽しそうに話してくれました。今日もすっきりとした表情で帰って来ました。

点数や順位は、誰にとっても分かりやすいがゆえに、それが全てであるかのように、錯覚しそうになります。しかし、練習でうまくいかなかったときには、自分やチームに何ができるかを考え、試してみる。成功した時にはみんなで思いきり喜び合う。…そうした経験が、子供たちを大きく成長させ、集団としての高まりを生みます。運動会には様々な競技、全校縦割りの団編成、工夫された応援スタイル等、一体感を生み出す仕掛けがたくさんあります。運動の得意不得意にかかわらず、美しいことや価値あることが何かを、子供たちは経験しながら学び、自分もそうありたいと願い、必死になるのではないかと思います。開閉会式や各競技の練習を通して、子供たちが自分の課題に目を向けて成長しようとする姿、友達と心を合わせて頑張ろうとする姿、下級生の手本になって導こうとする姿に、「運動会」という行事の魅力が表れているのだと考えています。私はこの仕事に就いて、一層、運動会が大好きになりました。冒頭のキャッチコピー、まさにその通りだなあと、改めて感じながら、これから先の子供たちの成長が楽しみでなりません。



さて、PR動画でも紹介されている、富山県が目指す教育の姿は、「教育によるウェルビーイングの実現」です。予測困難といわれる未来において、自分なりの解を考え、自分らしい生き方を導き出す力を育むこと。誰一人取り残されず、一人一人の可能性が最大限に引き出される学校や教室をつくること。私たちの担う使命は大きなものですが、子供たちの成長にわくわくしながら、頑張っていきます。応援よろしくをお願いします!!



(※) <https://www.youtube.com/watch?v=Y4qXq6crV14&t=2s>